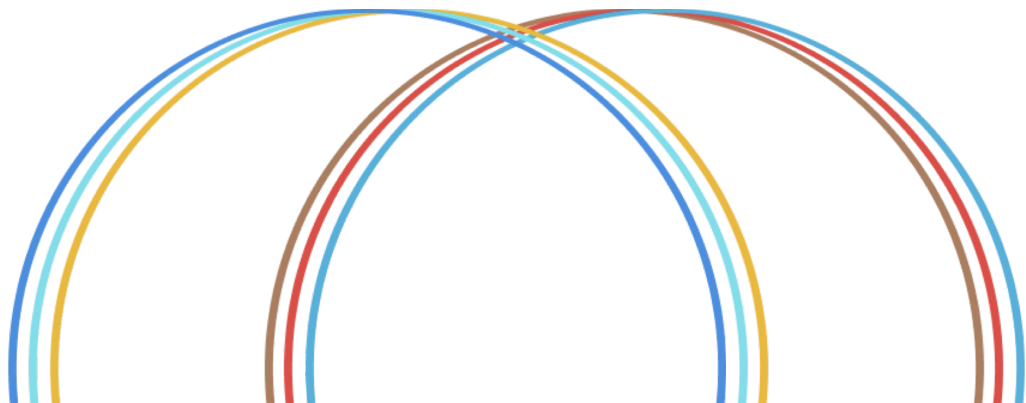




マイナウォレット株式会社

誰一人取り残すことなく、デジタル資産を活用できる世界を





About Us



橘 博之
CEO



塚田 真之介
CSO



新堂 敬隆
CPO





マイナンバーカードを活用し、 誰もがデジタル資産を今すぐに安心して利用できる社会を

私たちが実現するのは、
信頼と価値が企業や国境の内側で止まらない世界です。

一度確認された信頼が、どのサービスでも通用する。
価値が共通の形で扱われ、仕組みに縛られずに動く。

マイナンバーカードは強い本人性を提供し、
ブロックチェーンは価値を共通の形式で表現する。

この二つを接続することによって、
取引は増え、経済はより速く回り始める。

私たちは、**価値交換をなめらかにするプラットフォーム**を構築します。





サービス概要：マイナウォレット[®]

KYC 済みウォレット

アカウント抽象化技術、公的個人認証サービスの組み合わせにより、持主の本人確認が可能なセルフカस्टディアルウォレットを実現

ガスレス取引

ユーザはブロックチェーン技術特有のガス手数料を全く意識せずに利用可能

デジタル証明書対応

mdoc/mDL、SD-JWT など、複数のフォーマットのデジタル証明書の管理等、DIW の機能を提供

アカウントリカバリー

カードの更新、紛失や盗難の場合でも、ウォレットのリカバリーが可能

Min Apps 拡張

第三者提供のミニアプリや、アプリ内ブラウザから様々なサービスをマイナウォレット上でシームレスに利用可能

既存金融機関連携

暗号資産交換所、銀行、証券口座連携、バーチャルカード発行等、様々な既存金融サービスと連携





サービス概要：マイナペイ[®]

ステーブルコイン払いを可能に

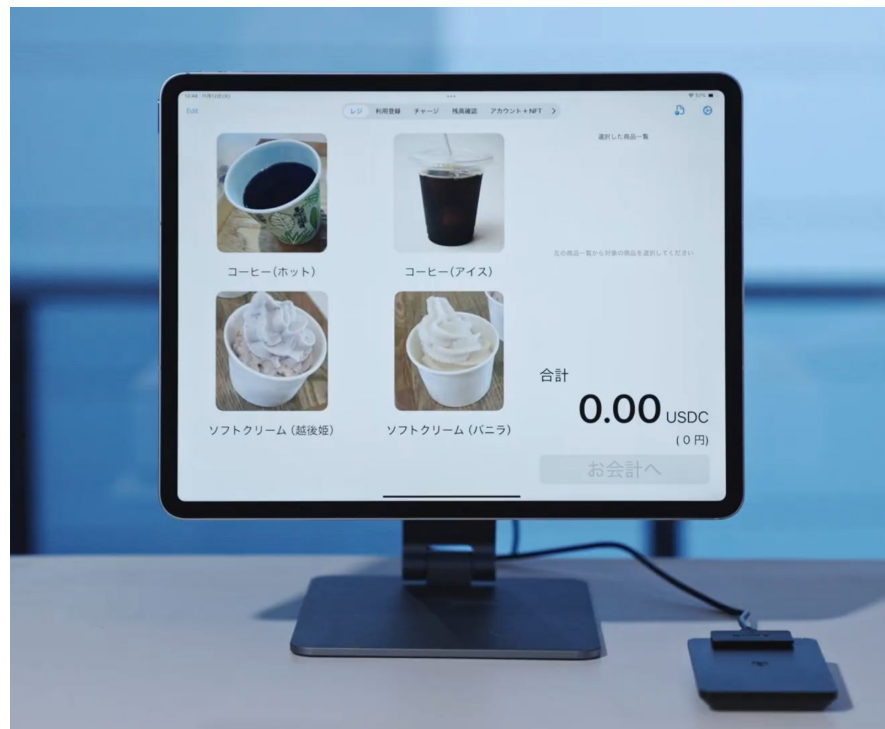
マイナンバーカード単体で、ステーブルコイン、暗号資産、デジタル地域通貨等のチャージ・決済が可能。店舗は日本円で売り上げを受け取ることが可能。

タッチ決済、QRコード支払いを実現

マイナンバーカードやスマートフォンのマイナンバーカードをかざすだけで決済を実現。また、様々なウォレットでのQRコード支払いにも対応。

既存の決済端末でも利用可能

店舗に導入済みの一部の決済端末でも利用することが可能。





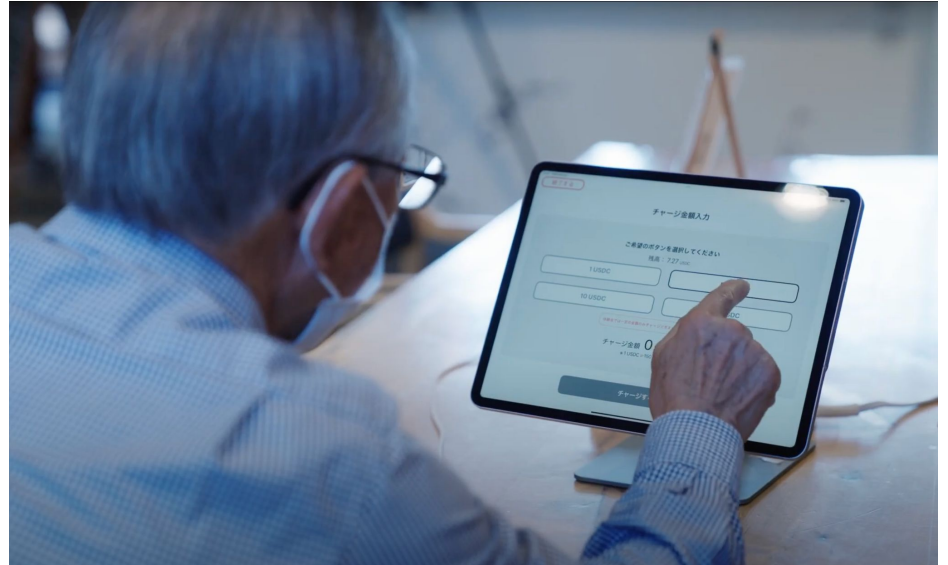


事例紹介：新潟県長岡市山古志地域

マイナンバーカードでお買い物!マイナウォレット実証試験

本実証実験では、ネオ山古志村デジタル村民の皆様
の協力の元、スマートフォンアプリを操作すること
なくマイナンバーカードをタッチするだけで利用登
録・ステーブルコインのチャージ・お買い物での
お支払いを行うことができる体験会を開催しました。
体験会は午前と午後の2回実施し、合計30名ほどの
方々に体験していただきました。

後日、平デジタル大臣の視察も行われ、地方創生へ
のマイナンバーカード・ブロックチェーン技術活用
について期待と応援のお言葉をいただきました。



参考：デジタル相、地方創生を応援

<https://www.youtube.com/shorts/kPZ7-ZJWtl8?t=35>

<https://youtu.be/wrHiucEDmly>



デジタル行財政改革会議にて提言

2025年4月22日



出典

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_gyozaiikaikaku/kaigi10/gijishidai10.html



事例紹介：特区制度を活用した規制緩和の実証

マイナンバーカードによるステーブルコインを用いたタッチ決済の実証実験

4 Fintechの推進に向けた規制緩和 新規提案

新たな決済手段の普及 (につながる規制緩和を提案！)

現状

- 暗号資産等の普及が進み、店舗での支払いにも利用できるようになってきている。
- スタートアップが、顧客と店舗間における**安全な決済システム**を開発している。

課題

- しかし、スタートアップが決済システムを提供する際、取引に関与しない場合でも、取引事業者として、**資格の登録が求められる**。
- このことが、新たな決済サービスが普及しない要因の一つとなっている。

↓
そこで

提案 一定の要件を満たす場合に限り、**「資格登録なし」**に(取引に関与しないなど) **決済サービスの提供を可能**とする。
(資金決済法等の緩和)

5 デジタル社会の実現に向けた規制緩和 新規提案

マイナンバーカードの利便性向上のため、規制緩和を提案！

現状

- マイナンバーカードの**利用シーンの拡大**が期待される中、国内スタートアップが、**マイナンバーカードを活用したタッチ決済サービス**を開発中。

課題

- しかし、マイナンバーカードの「**かざし利用**」は、**屋内限定で決済にも使用できず**、民間サービスでの活用が進まない要因の一つと考えられる。

※ 暗証番号の入力や顔認証を用いず、カードを端末にかざして利用すること

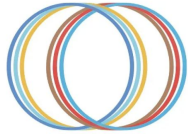
↓
そこで

提案 一定の要件を満たす場合に限り、「**かざし利用**」の(上乗額の設定や利用時の対面確認など) **屋外での利用や決済への活用を可能**とする。
(公的個人認証法等の緩和)





直近の取り組み：DG、JCB、りそなHD との実証



マイナウォレット株式会社

マイナウォレット株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：橋 博之、以下「当社」）は、株式会社デジタルガレージ、株式会社ジェーシービー（JCB）、株式会社りそなホールディングス（りそなHD）とともに、実店舗におけるステーブルコイン決済の実証実験を実施します。

本実証は、デジタルガレージ、JCB、りそなHDの3社による「ステーブルコイン決済の社会実装に向けた協業」（2026年1月16日基本合意発表）の一環として、2026年2月24日（火）から3月2日（月）までの期間において、米ドル建てステーブルコイン「USDC」および日本円建てステーブルコイン「JPYC」を用い、対面環境におけるステーブルコイン決済の実装可能性を検証するものです。

■ 実証の目的

web3市場の拡大に伴い、ステーブルコインをはじめとするデジタル資産の利用は急速に広がっています。一方で、リアル店舗においてこれらの決済手段を日常的に利用できる環境は限定的です。

本実証では、広く一般に普及しているQRコード決済方式で、利用者が保有する任意のweb3ウォレットからステーブルコインで支払いを行い、店舗が日本円で売上を受け取るスキームを構築し、ユーザー体験からオンチェーン処理、精算フローまでを一連で検証します。

マイナウォレット株式会社

base

You can pay with JPYC or USDC.

JPYC または USDC でお支払いできます

参加方法	体験内容	開催場所・日時
Polygonチェーン上のJPYC またはBaseチェーン上の USDCを保有しているWeb3 ウォレットを事前に用意	「JPYC（USDC）」と レジで伝えて決済アプリの QRコードを読み取り、ウォ レットにあるステーブルコ インでお支払いできます。	Pangaea Cafe & Bar 2/24（火）～3/2（月） 平日14時以降限定

支払い時のガス代無料!

ご用意いただくもの

- スマートフォン
- Polygonチェーン上のJPYCまたはBaseチェーン上のUSDCを保有しているWeb3ウォレット
(推奨ウォレット：Base App、マイナウォレット)



直近の取り組み：SMCC と連続共同実証開始



NEWS RELEASE
各位



2026年1月16日

マイナウォレット株式会社
三井住友カード株式会社

マイナウォレットと三井住友カード、マイナンバーカードを活用した
ステーブルコイン決済の連続実証実験を共同で開始

～マイナンバーカード×ステーブルコインという国内先端領域での社会実装を
目指し、実証実験の第一弾をライジングゼファーフクオカのホームゲームで実施～

マイナウォレット株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：橋 博之、以下「マイナウォレット」）と、三井住友カード株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 CEO：大西 幸彦、以下「三井住友カード」）は、マイナンバーカードを活用したステーブルコイン決済の社会実装に向け、連続的な実証実験プログラム（以下「本プログラム」）を共同で開始しました。

本プログラムでは、マイナンバーカードをそのまま「ウォレット」として利用し、日本円連動型ステーブルコインによるタッチ決済を、三井住友カードの **stera** 端末上で実現することを目指します。本プログラムの第一弾として、福岡市およびライジングゼファーフクオカ株式会社（以下「ライジングゼファーフクオカ」）の協力のもと、2026年1月23日、24日に開催されるライジングゼファーフクオカのホームゲームの会場にて実証実験を実施します。本取り組みは、「福岡市実証実験フルサポート事業」に採択されたものとなります。

日本経済新聞

記事利用について

ステーブルコイン、マイナカードで決済 三井住友カードが福岡で実証

2026/1/24 9:00 | 日本経済新聞 電子版



マイナカード決済でグッズを購入する男性（福岡市）＝画像を一部処理しています

三井住友カードは23日、全国で初めてとなるマイナンバーカードを使ったステーブルコイン決済の実証実験を福岡市で始めた。利用者はマイナカードをウォレット（電子財布）として使い、決済端末にタッチして支払う。

ステーブルコインは法定通貨や国債など裏付けとなる資産を担保に発行する。ドルや円に連動するためビットコインなどの仮想通貨と比べて価格が安定しやすい。

実証実験は男子プロバスケットボールのBリーグ2部「ライジングゼファー福岡」の試合会場で23～24日に実施する。会場周辺のキッチンカーやグッズ売り場でマイナカードを使ってステーブルコイン決済を体験できる。

利用者はフィンテック企業、マイナウォレット（東京・千代田）のアプリを介してマイナカードにステーブルコインをひも付ける。三井住友カードのキャッシュレス決済端末「stera（ステラ）」にタッチすると決済が完了する。



直近の取り組み：しずおかFGと共同研究開始

News Release

未来がはじまる場所になる。

しずおかフィナンシャルグループ

2025.12.29

Web3 事業に関する共同研究の開始について

しずおかフィナンシャルグループ（社長 柴田 久）では、第 1 次中期経営計画「Xover～ 新時代を拓く」の基本戦略の 1 つに「地域共創戦略」を掲げ、地域やお客さまの課題解決を通じた「社会価値創造」と「企業価値向上」の両立に取り組んでいます。

このたび、本取組の一環として、Web3 ウォレットを開発するマイナウォレット株式会社（社長 橋 博之）と連携し、Web3 技術を活用した新たなサービスの実現に向けた共同研究を開始しますので、その概要をご案内します。

1. 研究開始日 2026 年 1 月 5 日（月）
2. 背景と目的
 - しずおかフィナンシャルグループでは、第 1 次中期経営計画「Xover～ 新時代を拓く」の重要課題である「デジタル社会の形成」の解決に向け、新たなテクノロジーの活用による地域やお客さまの課題解決を目指しています。
 - こうしたなか、Web3 領域は将来的に大きな発展可能性があると認識しており、2025 年 10 月には子会社の SFG マーケティング株式会社で NFT 関連の新規事業を開始するなど、グループ各社で事業領域の拡大に取り組んでいます。
 - マイナウォレットは、マイナンバーカードを活用し、簡便・安心・安全にブロックチェーン上の資産を保有・保管できるウォレットの提供を目指しています。同社との連携により、NFT やデジタル通貨の地域における安心・安全な流通環境の構築が可能であると判断し、本共同研究に至りました。
3. 共同研究の概要
 - 共同研究の第 1 弾として、ブロックチェーン上で実験用のトークン（デジタル通貨の一種）を発行し、以下の実験を行います。
 - 実験結果を踏まえて、地域における活用方法の検討や実用化につなげる予定です。

実施内容	・しずさん本部タワー内での支払いに活用 ・危機時におけるトークンのやり取りを実施
期間（予定）	2026 年 1 月～2 月
実施目的	地域で流通するデジタル通貨の実現可能性を検証すること
4. 今後の展望
 - 共同研究を通じて、Web3 事業が地域の活性化や金融の高度化につながる可能性を検証します。
 - 地域企業や自治体等の地域の皆さまとの対話を重ね、地域における活用方法や具体的なビジネスの創出を目指します。

〈ご参考〉マイナウォレットの概要

名称	マイナウォレット株式会社
所在地	東京都千代田区大手町一丁目 6 番 1 号 大手町ビル 4 階 PINOLAB 内
代表者名	代表取締役 橋 博之
資本金	60,036,500 円
設立年月日	2023 年 6 月 26 日

SHIZUOKA FINANCIAL GROUP



直近の取り組み：日本で25社目の主務大臣認定の取得

デジタル庁

ホーム 一般の方 行政・事業者の方 プレスルーム Language 検索 すべてのメニュー

民間事業者（マイナウォレット株式会社）に対して公的個人認証サービスの利用に関する主務大臣認定を行いました

公開日:2025年10月29日

2025年10月24日、電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律（平成14年法律第153号）第17条第1項第6号の規定に基づき、公的個人認証サービスを利用するために必要な一定の基準を満たす事業者としてマイナウォレット株式会社に対し主務大臣の認定を行いました。

公的個人認証サービスについて

公的個人認証サービスは、マイナンバーカードに格納された電子証明書を用いて、成りすまし、改ざん、送信否認の防止を担保し、インターネット上での本人確認や電子申請等を可能とする公的なサービスです。

- [公的個人認証制度の概要について](#)



Execution Roadmap

Proving Unit Economics → Usage → Platform

2026-2027: Phase 1 | Unit Economicsの証明

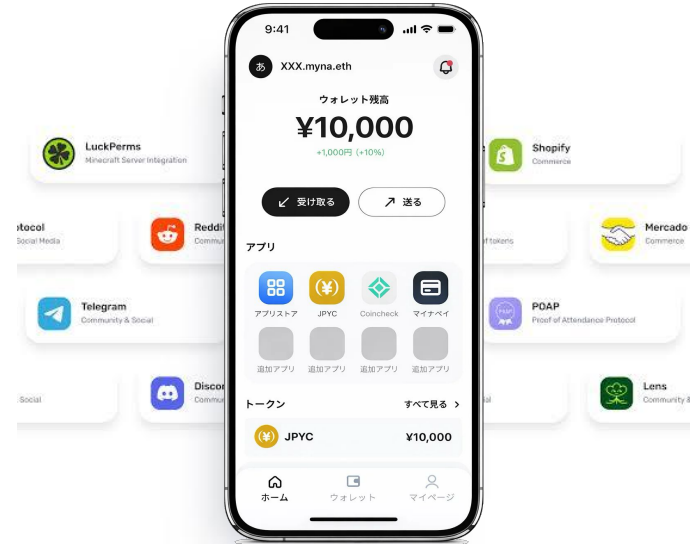
- マイナウォレットアプリ正式リリース (iOS / Android)
- ウォレット残高連動型カード(準デビット)発行

2027 H2: Phase 2 | 実利用の再現性

- マイナカード × タッチ決済実導入
- 店頭QR決済(ステーブルコイン、暗号資産、デジタル通貨)実導入
- 自治体への導入開始

2028: Phase 3 | プラットフォーム化

- ミニアプリ / SDK 拡張 / API 公開



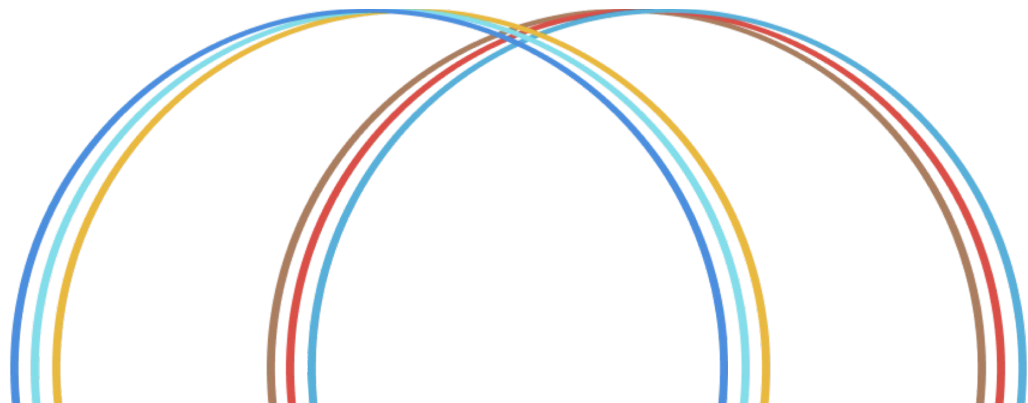
マイナンバーカードによる
KYC 済みユーザのみが参加する安心・安全のエコシステム

"お金や権利" を扱うあらゆるサービスが
ウォレット一つで、あらゆる価値を滑らかに共有



マイナウォレット株式会社

誰一人取り残すことなく、デジタル資産を活用できる世界を





Appendix



Fundraising Track Record

創業者ラウンド - 資金調達金額: 20,010,000円

(一部抜粋)

- 塚田 真之介 (連続起業家)
- 湯本 暖 (元 Google 日本法人マネージャー)
- 曾川 景介 (元メルペイ取締役 CTO・元メルカリ執行役員 CISO・現 newmo 株式会社 CTO)

エンジェルラウンド - 資金調達金額: 47,199,962円

- gmjp holdings
- 京都芸術大学アートアンドビジネス1号投資事業有限責任組合
- Balaji Rolling Fund (代表者: Balaji Srinivasan / 元コインベース CTO・元 a16z ゼネラルパートナー)

シードラウンド - 資金調達金額: 2億円 (2025/6)

- gmjp holdings
- Coincheck Group N.V. (代表者: 松本大 / マネックスグループ会長)



平デジタル相 新潟 長岡で「デジタル村民」の取り組み視察

2024年11月6日 NHK 報道

平大臣は住民の代表からこの3年間で1700人以上が認定され、地区に人を呼び込むことにつながっているなどと説明を受けました。

また、実証実験が行われているマイナンバーカードを使って買い物ができる「マイナウォレット」も体験し、アイスクリームを購入していました。



視察のあと平大臣は記者団に対し「デジタルによって10年前にできなかったことができる。デジタルを活用して地域の課題を解決し、地方経済を活性化する取り組みに予算を確保したい」と述べました。

出典

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20241106/k10014630721000.html>



自民党web3プロジェクトチームにて弊社製品をご紹介



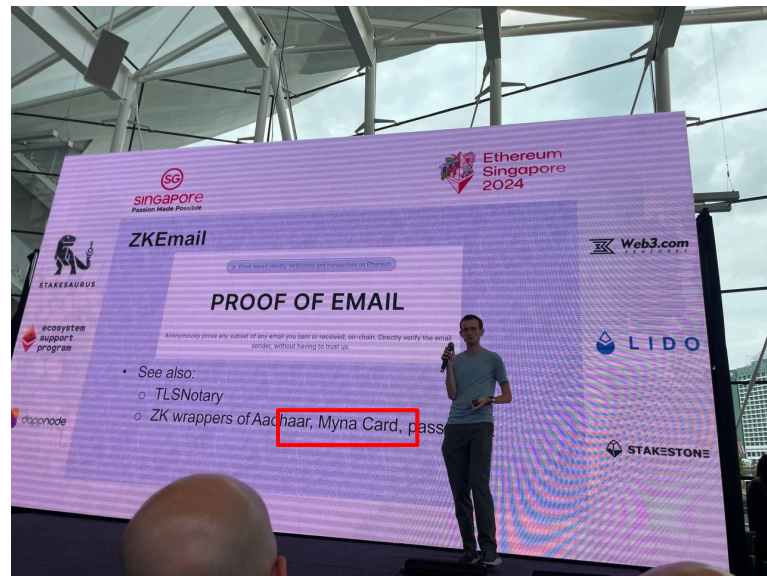
出典

https://note.com/akihisa_shiozaki/n/n8c7ce077e068



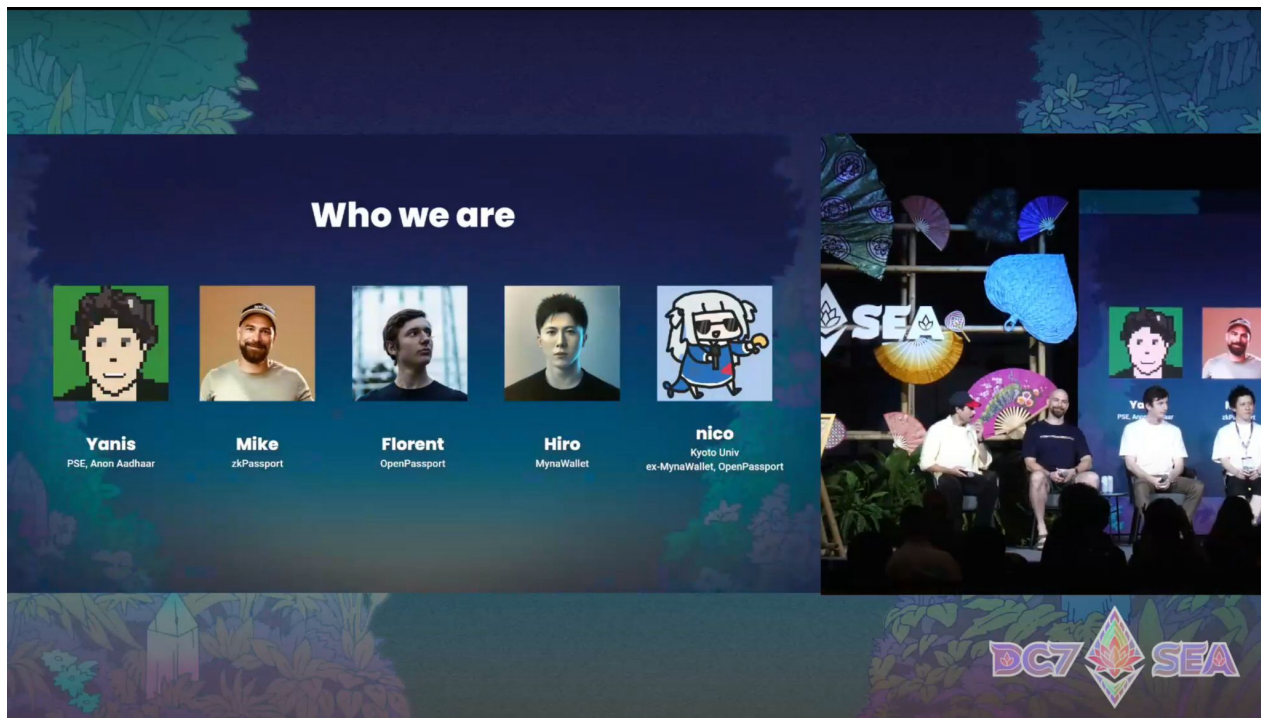
What I would love to see in a wallet - by Vitalik Buterin

Fortunately, with ZK-SNARKs, we have a fourth option: **ZK-wrapped centralized ID**. This genre includes **zk-email**, **Anon Aadhaar**, **Myna Wallet**, and many others. Basically, you can take many forms of (corporate or governmental) centralized ID, and turn it into an Ethereum address, which you can only send transactions from by generating a ZK-SNARK proving possession of the centralized ID.





世界最大規模の Ethereum 開発者会議「Devcon 7」登壇



出典

<https://devcon.org/en/>



デジタル庁 Verifiable Credential (VC/VDC) の活用における ガバナンスに関する有識者会議への参加

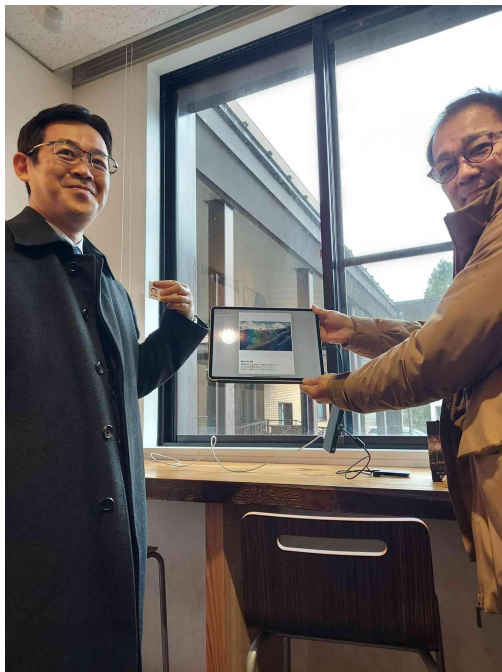
Verifiable Credential (VC/VDC) の活用における
ガバナンスに関する有識者会議（第1回）
議事次第

令和7年3月10日（月）
15：30～18：00
於：オンライン

1. 開会
2. 検討会の進め方について
3. 座長の互選
4. 議事
 - (1) 各事業者・団体における取組内容の紹介
 - ① DID/VC共創コンソーシアム
 - ② マイナウォレット株式会社
 - (2) VCに関連する各種制度等について
 - ① 事務局説明
 - ② 事務局説明資料に関する議論
5. 閉会・諸連絡



あべ文部科学大臣、赤松文部科学大臣政務官山古志視察 マイナウォレットによる来訪記念 NFT の取得



出典

<https://x.com/RyuKiyo66/status/1863361392792993998>



Ethereum Foundation President Aya Miyaguchi 氏と対談

2025年9月12日



出典

https://x.com/Ethereum_JP/status/1966384660918800841